

# 図書館だより

平成29年度 第5号

伊丹西高等学校 図書館

平成29年12月13日(水)

「飛鹿<sup>ビュイカ</sup>の群れの中には、群れが危機に陥ったとき、己の命を張って群れを逃がす鹿が現れるのです。長<sup>おき</sup>でもなく、仔も持たぬ鹿であっても、危難<sup>いちはや</sup>に逸早く気づき、我が身を賭して群れをたすける鹿が。たいていは、かつては頑健であった牡で、いまはもう盛りを過ぎ、しかし、なお敵と戦う力を充分に残しているようなものが、そういうことをします。

私たちは、こういう鹿を尊び、〈鹿の王〉と呼んでいます。群れを支配する者、という意味ではなく、本当の意味で群れの存続を支える尊むべき者として。——貴方がたは、そういう者を〈王〉とは呼ばないかもしれませんが」

どこか翳<sup>かげ</sup>を宿した目で、男は言った。「ですから、私たちは、過酷な人生を生き抜いてきた心根をもって他者を守り、他者から慕われているような人のことを、心からの敬意を込めて、あの人を〈鹿の王〉だ、と言うのです。私たちが敬うのは、そういう人々で、だから、生まれつきの貴人は、いないのです」

そうか、とホッサルは思った。だから、この男と向かい合うと、いつもの調子で話せないのかもしれない。ホッサルは顔を歪めた。

上橋菜穂子『鹿の王』より

「男」は、祖国・アカファが強大な東平瑠<sup>ツキオ</sup>帝国にゆっくりと吞まれていく時、少しでも交渉を有利に運ぶために、勝ち目のない戦いを仕掛ける死兵の役目を引き受けた戦士団<sup>どっかく</sup>〈独角〉の頭<sup>かしら</sup>にして唯一の生き残り〈欠け角のヴァン〉。「ホッサル」は古オタワル王国の始祖の血をひく〈聖なる人々〉の一人で、謀略に用いられ、敵味方にかかわらず人の命を奪<sup>ミツツアル</sup>う黒狼熱と戦う天才的医術師。国や氏族といったマクロな争いと、人体と病素といったミクロな戦いに巻き込まれる二人。火馬<sup>アフアル・オマ</sup>の民の岩牢を逃れた後、夜半、ホッサルの部屋を訪ねたヴァンが、自分が誰であるかを知った上で貴人への言葉遣いをしないことを、ホッサルがとがめだてるシーンです。

いかにも〈鹿の王〉と称するのにふさわしそうなヴァンも、自分では、生きる意味を失って死に場所を探していたにすぎない、と評しています。ホッサルも本来、血筋を誇ったりはしない気さくな男です。

皆さんは何を尊いと思いますか？ 何に敬意を払いますか？

情報教育部長 M.S.

## ビブリオバトルについて

去る11月10日（金）に図書委員会で『ビブリオバトル』を開催しました。ビブリオバトルとは、本を知り人を知る書評ゲーム。「ビブリオバトル普及委員会」が定めた公式ルールもあるのですが、今回も昨年同様ゆる〜いルールで行いました。ただし、今年はオーディエンスのみでの参加はなし。



全校意見発表会と同じように、四、五人の小グループに分かれて予選を行い、各グループで勝ち残った人が全体の前でアピールするという形式に変更しました。



チャンプ本は、3年生M.K.さんが推した、住野よる『きみの臓腑を食べたい』に決まりました。



## 冬季休業中特別貸出について

期末考査最終日の7日から冬季休業中の特別貸出を行います。一人10冊まで借りることができ、返却日は来年の1月9日（火）始業式の日です。

今まで気になっていた本を一気に読めるチャンス。特に3年生で既に進路が決まった人は、是非この機会にたくさんの本を読んで下さい。西高図書館の本が読めるのもあとわずかです。



## ことば蔵・ヤングアダルトコーナーについて

来たる12月22日（金）に「ことば蔵館内見学」を行います。

『YAたいむず』の紙面作りのためYAスタッフ向けに、普段は見ることのできない所もみせて頂けることになりました。今回からの参加も歓迎です。ことば蔵1階多目的室2（玄関を入れて右手）に集合して16時30分出発ですが、遅れてきても1階カウンターでその旨を伝えれば合流することができます。

